



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第182号 (平成 29 年 11 月 15 日)



(目 次)

- 1 <林野庁プレスリリースから>
「木質バイオマス熱利用・熱電併給事例集」の取りまとめについて
- 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(123)
- 3 <森林・林業白書から>企業による森林(もり)づくり活動
- 4 <樹をとりまくはなし>(3) サクラの下には死体？
- 5 <イベント情報>
◆第3回木育・森育楽会
☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>
《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》
《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》
一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>



-
- 1 <林野庁プレスリリースから>
「木質バイオマス熱利用・熱電併給事例集」の取りまとめについて
-

1 趣旨

木質バイオマスは、近年、発電用や熱利用向けに活用が進んでおり、特に、平成 24 年 7 月に、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)」が導入されてから、木質バイオマスを燃料とする発電所が増加し、エネルギーとして利用された間伐材等の木質バイオマスの量も平成 24 年の 81 万 m³ から平成 28 年には 433 万 m³ へと 5 倍以上も増加しています。

木質バイオマス発電におけるエネルギー変換効率は低く、これを上げるには、発電施設を大規模にする必要がありますが、大規模な施設を運転するには、海外を含めた広い範囲から木質バイオマスを大量に収集することが必要になります。

一方、熱利用・熱電併給は、小規模な施設であっても、80%程度のエネルギー変換効率を実現することが可能であり、また、初期投資も少なくすむことから、小規模な地域でも導入可能な木質バイオマスの利用形態であると言えます。

このため、林野庁では、木質バイオマスによる熱利用・熱電併給を進めるため、都道府県の協力を得て、各地における熱利用・熱電併給の取組事例を収集・整理した「木質バイオマス熱利用・熱電併給事例集」を取りまとめました。同事例集では、これから熱利用・熱電併給に取り組もうとする方々の参考となるよう、全国 39 件の取組事例について、実施体制や燃料(薪、チップ、ペレット等)、熱利用施設、収支などに関する詳

細な情報を分かりやすく記載しています。また、巻末には、キーワード検索を入れることにより、必要な情報を探しやすくしました。

林野庁では、同事例集の林野庁ホームページへの掲載や、幅広い関係者への配布により、取組の普及を図ってまいります。

2 参考

木質バイオマスの利用推進について

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/biomass/index.html>

事例集は、以下のページにも掲載しております。

http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/biomass/con_4.html

詳細については次の URL のホームページを開いてご覧ください。

URL: <http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/171109.html>

2 <コラム> 森林環境教育の現場から(123)

北海道名寄市で「森のようちえん」を行いました。昨晚からの降雪で森はうっすらと雪景色です。今回は、いわむらかずおの「14ひきのさむいふゆ」の読み聞かせからスタートです。子どもたちの目は周りの雪景色の効果からキラキラ光っています。「ネズミさん冬はどうしているのかな?」「起きてる〜」「寝てるよ〜」など、生き物の冬ごりの話に発展していきます。「それでは、森の生き物の冬越しを見に行きましょう!」と、期待を持ちながらワイワイ森に出かけていきます。でも、生き物探しより雪遊びが一番楽しい♪いつの間にか雪合戦に・・・これでは、いたかもしれないキタキツネもエゾユキウサギも退散してしまいます。「生き物いないね・・・」「そうですね〜でも、先生はヒツジさん見つけたよ!」「えっ・・・どこ?」「ほら、これ見てごらんヒツジさんのお顔だよ!」「あっ! 本当だ〜ヒツジさんいた!!」子どもたちはオニグルミの葉痕に大喜び、きっとどこかでキタキツネさんも喜んでいそうですね!

(森林インストラクター 柳原 高文)

3 <森林・林業白書から> 企業による森林(もり)づくり活動

各種インターネット・サービス事業を手掛ける楽天株式会社は、「イヌワシ」の生息地の回復や、気候変動対策を目的として森林整備に取り組んでおり、平成 28(2016)年 12 月末現在、29 県で 30 の森林整備に関する協定を締結し、全国各地で活動を展開している。

活動内容は、多様な生物保全のための間伐、小面積皆伐、放置された里山の回復、間伐材の利用による地域産業の活性化、森林環境教育の促進など多岐にわたる。

これらの取組には、同社のグループ会社を含めた約 1,300 の企業が参画しているほか、個人単位でも参画できる仕組みが構築されている。同社は、今後も全国で森林づくり活動に向けた取組を進めることとしている。

4 <樹をとりまくはなし>(3) サクラの下には死体？

以前都内の桜の調査をしていて、桜の下にキノコが生えていたのでキノコの先生に同定をお願いしたら「キノコの下に死体無かった？」と聞かれました。正直確認したくはありません。キノコの正体はアシナガメリで死体や排泄物など分解するアンモニア菌でした。アンモニア消毒とも言うように、普通アンモニアがたくさんある所に菌類は入りにくいのです。したがって死体や排泄物が森の中に現れると、ぽっかりと菌類のいない場所ができ、そこを狙うのがアンモニア菌です。アンモニア菌にとって、死体や排泄物はある意味お祭り状態で、飲めや歌えの大騒ぎなんだと思います(私個人の想像です)。街路樹の植え込みなどには糞も多くて、調査中踏んだりして大変迷惑なのですが、街路樹にアシナガメリが出てもおかしくないかもしれません。サクラの下には死体が眠っていたかどうかはわかりませんが、ペットなどを埋めたのかもしれませんが。「キノコはだませない」とこの時、思いました。

(森林インストラクター・樹木医 岩谷 美苗)

5 <イベント情報>

◆第3回木育・森育楽会

◆第3回木育・森育楽会

12月3日、みやざきアートセンターにて木育・森育の集いを！」

「NPO 法人 木づかい子育てネットワーク」では、このほど第3回「木育・森育楽会(もくいく・もりいくがっかい)」を、2017年12月3日(日)にみやざきアートセンターにて、開催いたします。

木育とは、木に親しみ、生活の中に上手に取り入れることができる人間をはぐくむ教育活動。その範囲は広く、森を作ったり保全したりしてその意義を普及する活動、子どもたちへの教育活動、大人対象の木材系ワークショップ、ツリークライミングなどの体験活動…と様々なモノやコトが木育とされます。

そこで、全国で様々な活動をしている皆様が、一堂に会して自分の活動を紹介し合える、つながりあって新しいムーブメントを起こすことのできる、そんな刺激的な「楽会」を開催しよう！と2016年の2月に初開催してから、地方大会の開催なども含めて今までに4回開催してまいりました。今回は本大会としては3回目、会場を九州に移して、開催です！

●木育・森育楽会 テーマ～「みんなつながっている」

美しい森をつくることと同時に、賢く木を使う社会づくりは、持続可能な森林・林業の実現に向けて欠かせません。

林業と木材産業をつなぐのが木材だとすれば、市民参加の森づくりと木づかいをつなぐのは教育です。「育」や「業」、それらを行うねらいや立場は違っていても、私たちは

一つの大きな輪の中でつながっています。そのつながりを強め、持続可能な社会づくりに向けたネットワーク構築に向けて、開催されるのがこの木育・森育楽会です。

●参加費無料！多様なプログラム

森と木と教育に関わる問題別討論、体験分科会の数々。基調講演、ワークショップ、全体討論、勝手に表彰等、多種多様なプログラムで繰り広げられます。

今回のテーマの一つに「学校教育における木育の普及拡大」を掲げております。そこで問題別討論では義務教育と木育、高校生、大学生と木育と二つの討論を行います。今どきの教育にどう木育・森育を加えていくのかを事例を参考に、討論したいと思います。

分科会では体験を中心とした4つのテーマに基づいて木育を語り合います。

1. 子どもが楽しむ！施設づくり
2. こどもがわかる！木と森のものづくり
3. こどもが変わる！地域素材を活用したものづくり
4. こどもがはまる！教材づくり

その他、詳しいタイムテーブルはサイトをご参照ください。

【木育・森育楽会 サイト】

[http:// www.mokumori-gakkai.org/](http://www.mokumori-gakkai.org/)

●エクスカージョン「宮崎木育・森育体験ツアー」と懇親会は前日2日に！

以下の企画がありますので、こちらもぜひお楽しみに。

「宮崎木育・森育体験ツアー」

・①宮崎空港発 11:30／②宮崎県庁発 11:20

・日南市子育て支援センター「ことこと」や、あがた幼稚園などの視察ツアーを実施

・①②とも宮崎県庁前解散(17:30 予定)

・要予約 30名程度、参加費は昼食代(実費)のみご負担いただきます。日南名物「カツオ炙り重 1300円(税込)」の予定

・申し込み締め切りは11月15日ですが、先着順ですので定員になり次第締め切らせていただきます。(「木育・森育楽会」サイトの「参加お申し込み」フォームからお申し込みください)

「木育・森育楽会懇親会」

・18:30～懇親会を開催します。参加費 4000円程度、場所未定ですが宮崎市内です。お申し込みは上記と同じフォームより！

お申し込みはサイト内のフォームからどうぞ！

【木育・森育楽会 サイト】

[http:// www.mokumori-gakkai.org/](http://www.mokumori-gakkai.org/)

主催団体名

NPO 法人木づかい子育てネットワーク

問合せ先

TEL 070-5082-9027

E-mail mail@mokumori-gakkai.org

